

にまい貝

千葉市立幕張西中学校
学校だより 第11号
令和6年3月8日発行



卒業生に向けて・・・

校長 佐藤 洋幸

【卒業】その言葉には様々な思いが混ざっています。「うれしい」「さびしい」「心のこり」「希望」「不安」「楽しみ」「夢」「期待」「解放」「開放」etc. 人それぞれに、そして一つの感情でなく、いくつもの思いが混ざり合っって『卒業の日』を迎えます。

人生の大きな区切りです。区切りをつけることができると、ほっとした気分にもなります。また、その先の道は、目の前の扉を開けて足を踏み入れてみないことには様子が分からないので、不安をもつこともあるでしょう。

義務教育が終わっての卒業ですので、卒業後にどうするのかは、自分で考え行動し、手に入れる必要があります。

高校進学では入学試験があり、多くの学校で、今までほとんどの人が経験していない「面接試験」も行われます。とても緊張したのではないかと思います。今後も進学や就職の際には「面接試験」がついて回ります。

苦勞して、努力してつかんだ今後の生活です。時につまづく時もあるかもしれませんが、簡単に手放すことなく、合格の時の喜びや希望を長く持ち続けてください。

先日、私は高校の同窓会に参加しました。うちの学年はもう何回も開催しています。「4年に1度、オリンピックの年に」と決めてあり、コロナ禍直前の実施から4年ぶりに集まりました。卒業してから40年以上経ちます。中には今回初参加し、40年以上ぶりに会った者もいました。しかし、しばらく話していると「あの頃」に戻れます。私にとって素晴らしき仲間たちです。皆さんもそんな仲間をたくさん作ってください。

中学校の「仲間」は地域に根差した関係です。高校になると世界が一挙に広がります。大学に行けば日本各地に（時に世界中に）「仲間」が広がります。どんどん自分の世界を広げていってください。新しい人との出会いは、新しい自分との出会いにもなります。

無限の可能性を持つ卒業生が、社会人となり、世の中を引っ張っていき、支えてくれる日はそう遠くありません(3年後の18歳で「成人」です)。

今は振り返ることはせず、顔を上げ、まっすぐ前を見つめ、自分でつかんだ道を突き進んでいってほしいと願います。

卒業 おめでとう！

3年生が卒業の歌として卒業式で歌いました。合唱で有名な神代中平成13年度卒業生の言葉を集めて作られました。元々は校内での曲として卒業生を送る会で演奏されたようです。

桜散る頃～僕達のLast Song～

作詞:調布市立神代中学校卒業生

作曲:山崎朋子(同校教諭)

風に乗り高く 舞い上がる鳥が
飛び去ってゆく 光の中へ
見上げたあの空に 希望をたくして
自由をつかもうと 必死に走った

おさなかつた僕も大人になる
本当の優しさを知ったから

未来の僕達へ 願う想いは同じ
光る夢と明日へ歩いてく
どこまでも

涙色の空 春の雪が降る
さくらの花びらに くり返す季節
幾度巡りくる 出会いと別れが
素直な気持ちを教えてくれた

気づかないほどいつもそばにいた
あの頃は君とよりそって

未来の僕達へ 贈る言葉はひとつ
君に会えてよかった この想い
いつまでも

未来の僕達は まっすぐに前向いて
光る夢と明日へ
歩いてる どこまでも
歩いてる どこまでも...

【令和5年度PTA寄贈品】

昨年度までは卒業記念品としてPTAから3階にある冷水器や体育館の木製階段、パイプイスなどを寄贈していただいております。今年度からは学習環境整備費と変え、「令和5年度PTAのから寄贈品」として提供していただく形に変更いたしました。今年度はテント一梁、紅白幕、パイプ椅子20脚を購入させていただきました。大事に使っていきたいと思います。ありがとうございました。

【令和5年度千葉市立幕張西中学校第49回卒業証書授与式】

3月8日(金)朝は雪の降る中でしたが、卒業証書授与式を5年ぶりに全校生徒が出席の中で行うことができました。最後は全校合唱「大地讃頌」が体育館に響き、心温まる、3年生の笑顔あふれる式となりました。

